

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年9月6日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部・経済学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年8月23日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	English/English
留学期間	2024年5月～2024年8月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月上旬 2 学期: 1 月下旬～5 月中旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	45,000
創立年	1868 年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (USD)	日本円	備考
授業料	6,847.14	1,033,918.14 円	1usd=¥151
宿舍費	6460	975,460 円	1usd=¥151
食費		円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	200	30,000 円	T-mobile の物理 sim
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	194	29,294 円	形態: 明治大学指定の保険
渡航旅費	2,000	300,000 円	
ビザ申請費	165	24,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	15,866.14	2,395,787.14 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:NRT 目的地:SFO 経由地:
復路 出発地:SFO 目的地:NRT 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:ANA 料金:¥300,000 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:ihouse) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
先輩方の留学報告書
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ihouse は、友達を作る上で最高の環境だと思うので、おすすめします。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

Berkeley の、犯罪情報などをメールで送信してくれる WarnMe に登録した

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内でのEi-Fiは、ほぼどこでも接続できたので問題なかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

家族で共有しているクレジットカードを主に使用していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本食が恋しくなることがあったので、何かしら持っていくことをお勧めします

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に父に頼んで、クレジットカードで支払いをもらった。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
3 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Marketing	マーケティング
科目設置学部・研究科	Hass
履修期間	2024/05/20 - 2024/06/28
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Janet M Brady
授業内容	The evolution of markets and marketing; market structure; marketing cost and efficiency; public and private regulation; the development of marketing programs including decisions involving products, price, promotional distribution.
試験・課題等	二週に一回程度の reading、debate、中間試験に当たる presentation
感想を自由記入	reading を元に次の授業でディスカッションするということが何度かあったのと、中間試験としてプレゼンがあったため、自分のチームが一番初めということもあり、とにかく急ピッチで、グループメイトと授業外で何度も集まり完成させた。期末試験はマークシート式であり、内容もそこまで難しいものではなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
2	
科目設置学部・研究科	Hass
履修期間	2024/05/20 - 2024/06/27
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Omar Romero-Hernandez, Sergio Romero Hernandez
授業内容	The primary objective of this course is to develop the critical skills and knowledge needed to successfully pitch and lead projects, and to deliver those projects on time and within budget. The course delves into formal planning and scheduling techniques including: project definition, project selection, Work Breakdown Structure (WBS), Resource Estimation, Critical Path Method (CPM), Pert, Gantt Charts, Resource Constrained Scheduling, Project Monitoring and Project Closing.
試験・課題等	ほとんどない。試験勉強とプレゼンテーションの準備。
感想を自由記入	あまり馴染みのない内容であったため、少し苦戦したが、先生がとても優しく、グループメイトなどの助けもあり切り抜けることができた。 普段はほとんど課題はなく、評価方法はプレゼンテーションと、選択問題とライティングが含まれた期末試験だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Stress and Coping	ストレス対処法
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	2024/07/03 - 2024/08/09
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Andres G Martinez
授業内容	This course is designed to provide students with an in-depth analysis of the various areas within the field of psychology that address topics related to stress and coping. In particular, we will cover the biological, social, personality, cognitive, and clinical factors that play a role in the development of stress and subsequent coping techniques that can be used to deal with stress. The class will have a strong focus on the empirical findings relating to the subject.
試験・課題等	2回のレポート
感想を自由記入	本当に基本的な心理学の内容であり、テストと2回出されるレポートをきちんと提出すればハイスコアを取ることができる。評価基準もとても優しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Critical Issues in Global Studies	グローバルスタディー
科目設置学部・研究科	Social Science
履修期間	2024/07/01 - 2024/08/09
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Devin Thomas Leigh
授業内容	Global Studies 10B serves as an introduction to the Global Studies curriculum. Global Studies 10B introduces students to global issues thorough the lens of the humanities, such as art, literature, film, and culture. The topic of Global Studies 10B will vary from year to year, depending on the instructor. Students in each iteration of this course will learn about salient global interactions from a variety of cultural perspectives.
試験・課題等	毎週 50~70 ページほどの reading と、それに基づく 750 words 以上の writing、discussion、授業中での違う質問に対して即興で行う writing。そして、地域別の国名を回答する小テストが毎週あった。
感想を自由記入	Critical Issues in Global Studies は、評価方法がたくさんあり、discussion、participation、report、short test、final exam などが含まれていた。内容的にも、経済学科履修者としてはあまり馴染みのないものであり、単位取得するのに一番苦労した授業だったかもしれない。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
 (例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	留学出願
留学開始年	1月～3月	選考 滞在先の確保 履修登録
	4月～7月	visa 申請・取得 航空券購入 sessionA-D
	8月～9月	Session D 終了 旅行 帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

カリフォルニア大学バークレー校が設立されてから間もない頃に、アメリカの公立学校としては初めて設立された、歴史のあるビジネススクールである「Hass」の授業を受講したいと思ったのが大きな理由の一つです。バークレーは、サンフランシスコやシリコンバレーなど、アメリカだけでなく世界的にも屈指の企業、そして多くのスタートアップ企業がある都市に近く位置しているため、授業で学んだ企業などを実際に見学しに行けたりする点でも魅力的に感じた。

また、本校へ正規生として入学するのは、世界的にもかなり難しいレベルにある。ただ、私たち明治大学生はこのトップユニバーシティ留学の、特別難しくない条件を満たしていれば留学できてしまうというとてもお得な留学であり、この機会は逃せないといい本校を選んだ。

授業以外では、主に ihouse で出会った人、または授業中で席が近かった人などと仲良くなり、そのような人たちと近くで言えば映画館、Oakland, San Francisco へ行ったり、遠出だと車を運転できる友達に乗せてもらい、Point Reyes, Monterey, San Jose などへ遊びに行った。また、長期休暇がある時には飛行機に乗って当出をすることもあった。平日であれば授業後の夜は寮の中で卓球をしたり、great hall で集まって話をしたりしていた。毎週末には必ず友達とどこかへ遊びに行き、魅力あふれる Bay Area を満喫していた。勉強以外にも、新しくできた友達と遊ぶことも本留学の魅力であると感じた。

この留学に参加していた生徒は、自分の意思があり、目標が何か明確にしてあるなど意識の高い人が多い印象でした。もし本留学に参加したくても、なんのために参加するのか理由が明確でなくても、周りには相談に乗ってくれる人、様々な経験がある人など才能が多彩な人がたくさんいるので、心配することはないと思います。毎日自宅から大学まで通うという平凡な日常から抜け出して、世界屈指の素晴らしいこのバークレーで一学期を過ごすということは、一生の財産になること間違いありません。英語力に自信がなくても、向上心があれば現地で上達していくに違いないと思います。留学へ行くことに不安がある人は、安心してください。留学生活では、素晴らしいことばかりが待っています。皆さんにもぜひこの留学を経験してもらいたいと思います。頑張ってください。